

KSKS

ばなの木

Vol.56

今年は

わん! ダフルな年に



なりますように!

二〇〇〇年十二月十二日

第三種郵便物承認

毎月(1・2・3・4・5・6・7・8)の日発行

編集人: 社会福祉法人「ばなな」

TEL072-277-2163 FAX072-277-2167

法人ホームページ

モンキーばなな (生活介護・就労継続B型)

サニー・サイト (生活介護・就労継続B型)

らふたあ (居宅介護・重度訪問介護・移動支援・介護保険)

サポートセンターはなのこみち (グループホーム・相談支援)

堺市中区深井清水町 3488-1

e-mail:tomonoie@almond.ocn.ne.jp

<http://care-net.biz/27/banana/>

e-mail:banana_net@hotmail.co.jp

e-mail:sp9m7y39@wish.ocn.ne.jp

e-mail:laughter_net@yahoo.co.jp

e-mail:bnnhana@aioros.ocn.ne.jp

謹賀新年

今年もよろしくお願い申し上げます。

元旦は百舌鳥八幡宮に参りました、おみくじを引くと中吉でした。

・・・目出度さも中くらいなり おらが春・・・

昨年は「社会福祉法人・事業とは」を改めて考え直す一年でした。障がい者福祉に対する、熱い想いや理想だけではなく、安定した法人経営に関する能力が求められています。なにを今更、当然のことではないかと言われるでしょうが、障がい者福祉に懸命な人はお金には疎いのです。

長年の歴史と人材、安定した経営、三拍子そろった法人とその力が不十分な事業所があります。

障がい者福祉に期待される事業やサービスが多様化する現状に応えられる事業所ばかりではないと思われまます。

これからの時代、法人の吸収・合併が行なわれるかもしれません。利用者の方々の期待と信頼に応えられる年にしたいと願っています。

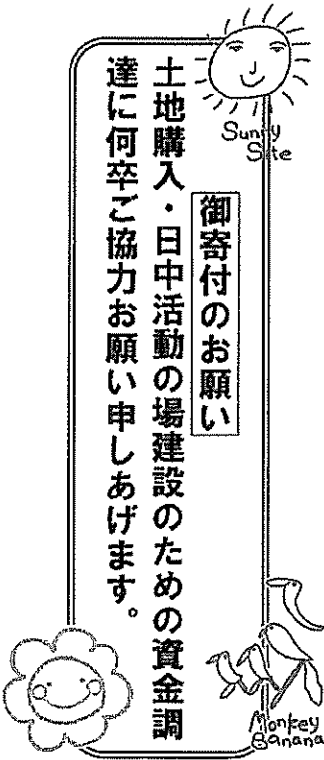
深井清水町に土地を購入しました。

先ずは 日中活動の場を建設します、生活の場も必要です、現利用者の高齢化・重度化や障がいを持つ子どもたちにも支援が…

深井清水町に腰をすえて、社会資源として住民の方々に信頼され、共に生きる社会を創り上げて参ります。

「ばなの」にとって今年「飛躍の年」でもあり「試練の年」にもなりそうです。

読者の皆様には何卒 御指導・御支援くださいますようお願い申し上げます。



御寄付のお願い

土地購入・日中活動の場建設のための資金調達に何卒ご協力お願い申し上げます。

平成三十年一月

社会福祉法人ばなの

理事長 今井 清行

【ばなの発】

活動報告

<10月>

- 5日 遊夢音 in Sakai 見学
- 13日 キャンドル作り
- 16日 モンキーばなの日帰り旅行
(和歌山方面)
- 28日 さかいボランティア・市民
活動フェスティバル

<11月>

- 3日 スポーツレクリエーション
大会
- 14日 第56回理事会
- 16日 家族会懇談会
- 17日 阿倍野防災センター見学
(1回目)
- 23日 第23回夕雲福祉フェスティ
バル
- 27日 第1回臨時評議員会

<12月>

- 5日 阿倍野防災センター見学(2回目)
- 23日 クリスマスコンサート

研修報告

- 10月 3日 はたけあ新人研修(1名)
- 6日 口腔ケアとりハビリ(1名)
- 18日・19日 在宅介護・施設介護に必要な介護用品・機器の展示会(5名)
- 25日 法人全体研修「障がいのある子どもを持つ親の思い」について(21名)
- 11月 7日 パッケージセミナー(3名)
- 15日 処遇改善研修(1名)
- 29日 法人全体研修「自閉症」について(16名)
- 30日 障害者虐待防止・権利擁護研修(1名)
- 12月 3日 豊かな地域生活のために(1名)
- 4日 中堅介護職員向け研修(3名)
- 6日・18日・19日 サービス管理責任者研修(1名)
- 11日 緊急時の介護研修(1名)
- 12日 強度行動障害支援リーダー養成研修(2名)
- 27日 法人全体研修「グループホームの課題と対策」について(20名)



《昨年もたくさんのバザーに参加させて頂きました》

- 10月 ・西区作業所ネットワーク ・精華高校文化祭 ・常磐祭 ・健福祭
- 11月 ・関西矯正展 ・西区ふれあいまつり ・ナカ・ナカマ♡ネットワーク
・西区作業所ネットワーク

たくさんのバザーに参加させていただき、ありがとうございました

【ワンポイントパッケージ改善セミナー】

ワンポイントパッケージの改善という事で、良いパッケージを作るために必要なお話を拝聴した。まず、パッケージの改善を考える時に、前提となるのは予算や継続できるか等、状況に見合ったデザインを考えることが重要であり、極論お金をかければ良いデザインは依頼して作ることが出来るのだが、体裁だけを整える必要はないという事だった。例として、講師のデザイナーである新井氏は、ある事業所のパッケージを作成にあたって、職員と綿密に意見交換し、包装の袋に紙を巻き手作りのゴム判子を押しという簡単な作業で効果的なパッケージを作成していた。デザインには段階があり、まず①コンセプト(想い)②マーケティング(買う人のニーズ)を考えることが重要であり、最初からデザインにあたるだけでは良いデザインは生まれにくいという事だった。コンセプトでは、世界的に成功しているアップル社=「革新を起こし続けたい」、レッドブル=「翼をさずける」を例に、目的に合致したコンセプトであることで、企業の可能性が広がっていることを理解できた。事業所では理念を基に、理想や目的などを話し合い共有することで、質の高いコンセプトになるという事だった。マーケティングでは、「ホームセンターにドリルを買いに来た人が本当に欲しいものは？」という問いから、売る側は「穴をあける道具がほしい」と考えることで、ドリル以外にも目的にあった道具を提案でき、本当のニーズを理解したマーケティングが出来る。具体的にはターゲットを想定し、商品がクッキーなら「誰に?どこで?どんな?」を若年層(子供、女性)、高齢層でそれぞれ考えることで、効果的なデザインが生まれ、また「誰にでも」という曖昧なものにならないという事だった。今回の研修で、デザインとはコンセプト、マーケティングを考え、どれだけ効果的に買う側に働きかけるかが重要という事が理解できた。まずは世の中にある優れたデザインを参考にしたり、売り場で目立つ工夫を学ぶことが、よいデザインを作る第一歩になると確信でき、有意義な機会となった。

【法人全体研修 グループホームの課題と対策について】

今回の研修は、グループホームでの具体的事例をもとに検討対策を考えていくというものであった。私自身、グループホームはなのこみちにおいて、利用者の詳細や支援員の体制など、わからない事が沢山あり、事例をもとに生活の様子や問題点など知る事ができ有意義であった。特にグループホームでの急病時の対応や職員一人の時の緊急事態対応はサニー・サイトでも充分起こり得ることであり、その時出た意見は具体的で大切なことばかりであった。中でも緊急時、医療施設に繋げる場合、連絡先や病歴、投薬内容、アレルギー、かかりつけ医などの情報が大切になってくる。「外出先でおこったら?」「古い職員がいない時は?」と考え、「緊急時の連絡情報シート」を備えておきたいと思った。それは病気の時だけでなく、災害時の対応にも非常に役立つものである。

【口腔ケアと口腔リハビリ】

食べるということは大切なことであり、しっかりケアしないと歯が抜け落ちたり、舌にカビが生えたりする事があります。食べるためには、舌、下あご、唾液の働きによって飲み込む事ができ、食べる速度が遅くなったから、経管栄養や胃ろうにしてしまうのではなく、しっかりとその人に合った好みの食べ物、濃さを知っておくことが大切であると知りました。ヨード製剤を口腔ケアで使用する注意点は、うがいなどには効果があるが、口内に炎症がある時はガーゼに浸みこまして拭かなければなりません。スプーンを使用して食事介助をする時は、その方に合った量と速度で行っていく必要があります、一番誤嚥が多いのがキザミ食です。食後、口の中にずっと残っていると誤嚥をしてしまう危険性があるので、食べ終わった後のケアをしっかりと行っていないといけません。今後は気をつけて取組もうと思います。

新しい職員紹介

渡邊 喜美栄 (モンキーばなな)

○趣味は？

読書です。

○特技は？

布団に入るとすぐに眠れます。

○マイブームは？

昼食用に作るおにぎりの具をいろいろ考えて試す事です。

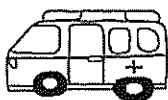
○休日の過ごし方は？

家事で一日が終わります。

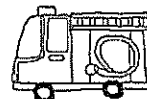
○皆さんに向けて一言

新しい環境で皆さんから日々良い刺激を受けながら過ごしています。どうぞよろしく願います。





モンキーばなな



阿倍野防災センターに行ってきました！！

11月17日(金)と12月5日(火)に大阪市阿倍野区にあります阿倍野防災センターにみんなで行ってきました。防災センターでは、バーチャルを使った地震体験、消火器を使った消火訓練、避難方法など防災に関わる体験学習ができます。参加された利用者は、誘導員の話をしっかり聞いて、いざという時の心構えと災害の怖さを体験する事ができました。センターの利用は事前予約が必要ですが、無料で体験学習ができます。詳しい内容は公式のホームページに載っていますので興味のある方は、ぜひ一度体験してみたいはいかがでしょうか？

今年 の 目 標 !

1月5日(金)にみんな
で書初め大会をしました。
今年みんなの目標は？

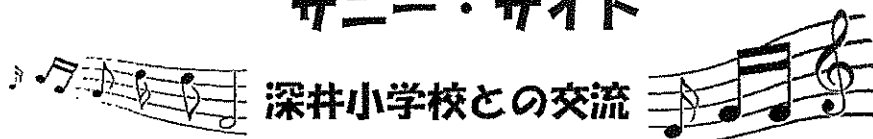
- ・健康。
- ・デートをしまくる。
- ・楽しくしごとをする。
- ・かぞくでマラソン
したいです。

今年も明るく元気で朗ら
かに活動していきます！
よろしくお祈いします！
モンキーばなな一同。

筆者のつぶやき

月日が経つのも早いも
ので平成 30 年を迎えまし
た。1月に思いだすのは 23
年前に起きた阪神・淡路大
震災です。今回の体験学習
でも当時の地震を体験し
ました。また南海トラフ地
震の体験もしましたが、地
震の強さや時間は阪神大
震災をはるかに超えるも
のでした。いつ起きてもお
かしくない地震に対し、よ
りいっそうの警戒心を持
って日々の生活と支援の
あり方を考えるきっかけ
になりました。

サニー・サイト



今まで6年生との交流が続いていましたが、「障がいのある方に、接する機会の少なかった低学年の生徒達に、障害のある方の働く姿を見ることで、理解を深めてもらいたい。」という先生方の思いから、2017年の交流会は3年生の3クラスが来て下さいました。元気いっぱい、サニー・サイトについて質問を沢山していただき、

障がいがあっても、一生懸命働いていることを知った。

編み物が好きなので、さをり織りをやってみたい。

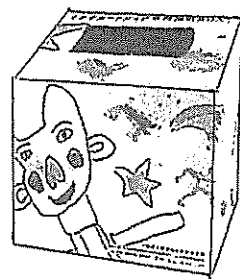
クッキーを買いに来たい！



といった感想を頂きました。その後3年生がクッキーを買いに来てくださいます。サニー・サイトは地域に根ざしていく事を目標にしていますが、皆さんの笑顔を多く見られる機会が増え、地域とのつながりを喜びと共に実感しています。

インクカートリッジ回収終了のお知らせ

インクカートリッジ回収作業は、大阪府工賃倍増計画推進事業の一環として、エル・チャレンジが運営主体となり、家庭用プリンターで使われた「使用済みインクカートリッジ回収、仕分け事業」です。平成21年2月から始まり、当初から今まで地域の自治会、行政機関、地元の企業やスーパーなどのご協力により、回収箱の設置させてもらい事業を努めてまいりました。



何より回収作業の換金をいただける以上に、さまざまに拡がるみなさまとのつながりで、交流の輪が広がっていった事がとても大きな財産となりました。

始まった当初より、事業所の状況が変動しまして、継続困難となりました。残念ながら、今年度いっぱいをもちまして、回収を終了させて頂きます。当事業所まで持って来て頂いた方、地域の皆さま、ご協力を頂いた皆様には、感謝の思いでいっぱいです。

(この回収箱で、サニー・サイト以外の別事業所等が事業を引き継いで下さる事になります。)

本当に、今までありがとうございました。



らふたあ



初詣に行ってきました



新年最初の外出の際に、利用者と共に自宅近くの神社へ初詣に行きました。この日は三が日の最終日であった事もあり、人も多くなく、スムーズに移動する事が出来ました。お賽銭を入れ、「病気やけがをすることなく元気に過ごせますように」「美味しい物をたくさん食べられますように」などなど願かけをしました。みなさまにとっても、2018年が良い年でありますように!!!



サービス提供責任者研修をうけてきました!!

教室に入るとテーブルごとに分かれ、午前中はグループワークで共有してみようという内容でした。最初に事例が出され、個人ワークで3分、グループワークで10分考え、発表を3回ほど行いました。多職種で意見交換をして、事例を検討内容から結論に至るまでの流れをより具体的に話し合いをしました。

次は事例をもとにし、実際関わっている〇〇さんについてアセスメントを立ててみました。実際にアセスメントを行ってみると、〇〇さんの障がい特性や支援内容を具体的にするのが難しく感じました。

午後からは、①記録の意義と目的の理解、②記録の書き方、③業務上の報告・相談リスク管理で、感染症対策、日常の観察について学びました。

講師より「ヘルパーは利用者の健康状態を注意深く観察して、身体の動き、声の調子、大きさ、食欲がいつもと違うと感じたら注意!!」だと教わりました。

モニタリングはどのようにしているかについては、記録で管理、課題にむけ1ヶ月または3ヶ月毎に評価を行うようにする。ヘルパーへの技術指導については、チェックリストを用意して熟練ヘルパーが同行してチェックを行うようにする。また、技術の研鑽のため、その利用者の課題を関わっているヘルパー同士で意見交換をして改善しているとのことでした。サービス内容の把握などは、ケアに入ったヘルパーからメールを使用してその日に連絡してもらい、業務日誌やテレッサで記録を確認しているとのことでした。

この研修を受けて、利用者のニーズを叶え、安全で安心して生活していただけるサービスが提供できるようにする為にも、普段の支援の中で利用者の体調の変化を把握しながら、声かけなどをしながら不測の事態に早めに対策をとれるよう、努めたいと思います。



サポートセンター はなのこみち

質の高い支援を目指して

12月にグループホームの職員2名が担当となって、法人全体研修を行いました。現在グループホームでは月に1回支援員会議を開いて支援の質の向上を目指して話し合っています。会議で決めた方針が成果を得ることもありますが、残念ながら効果が無いことも多くあります。そこでグループホームの支援員とは異なる視点を持った他事業所、他職種の職員から意見を聞かせてもらい、その意見をグループホームでの支援に活用することを目的としました。手薄な深夜帯の支援体制など多くのグループホームに共通する課題について事例をもとに検討し、対処方法や事前の対策について意見をもらいました。今後のグループホームでの支援に役立てていきたいと思っています。

一年の締めくくり、そして新しい年のスタート

2017年は曜日の関係もあってか、12月29日(金)が入居者全員の仕事納めの日でした。作業所で大掃除を頑張ったと笑顔で帰宅される方、作業所の「おつかれさん会」で鍋料理を作って皆で食べた満足そうにお腹をさすりながら話す方、冬のボーナスもらったと嬉しそうに報告される方、翌日からの年末年始の休みの予定を楽しそうに話す方と、全員が笑顔で一年を締めくくることができました。年末年始は帰省して過ごされる方もいらっしゃるのですが、グループホームで過ごされる方も半数います。そこでグループホームでも正月気分を満喫できるようにしたいと考えました。「正月といえば・・・」で思い浮かぶことは人によって様々だと思いますが、多くの人に共通して思い浮かぶことといえばおせち料理やお雑煮など、これぞお正月といった食べ物ではないでしょうか？元旦から三が日の間はおせち料理やお雑煮、鍋料理など普段グループホームでは出ない食べ物を楽しみました。お雑煮といえばお餅が付き物ですが、医師からお餅を食べないように指導されている方もいることから、お餅ではなくお餅の代わりになるものを考えました。去年は小麦粉で作った「すいとん」をお餅代わりにしてぜんざいに入れたのですが、今年は趣向を変えて大根と白玉粉で作った「大根もち」をお雑煮に入れました。お正月以外にはほとんど食べる機会が無い料理ですので、皆でおいしく食べることができたのは本当に良かったと思います。お正月の終わりがダイエットのスタートとなった方もいますが、全員が健康で楽しく過ごすことができ、最高の一年のスタートとなりました。



地域のみなさんとともに

クリスマスクッキーの販売にご協力いただきありがとうございました。

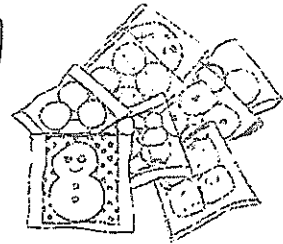
《クリスマスクッキーの売り上げ報告》

- 300円クッキーセット・・・489セット (146,700円)
 - 500円クッキーセット・・・593セット (296,500円)
 - 1000円クッキーセット・・・268セット (268,000円)
- 合計1350セット (711,200円)

平成29年度のクリスマスクッキーの販売は、皆様のご協力のおかげで無事終える事が出来ました。本当にありがとうございました。今後も、利用者と職員が一丸となり心のこもったクッキーを皆様のもとへお届けできるように頑張っていきたいと思っておりますので、これからもよろしくお願い致します。

《利用者、職員一同》

2月は300円と500円のバレンタインクッキー
セットの販売に取り組みさせていただきます！！



編集後記

例年、勝手ながらこの「ばなの木新年号」をもって新年のご挨拶に代えさせて頂いております。さて、平成30年は当法人にとって大きく動いていく年となっております。特に、以前からお伝えしておりましたサニーばなの建設に向けての打合せを日々進めております。本年もこの「ばなの木」を通じて皆様に法人の取り組みや福祉業界の情勢などをお伝えしていければと思っております。平成30年も社会福祉法人ばななをよろしくお願いいたします。



編集委員一同